## 経営体の概要

- ·所在地:茨城県八千代町
- 経営体名:平塚ライスセンター
- ・栽培作物・作付面積:水稲60ha・麦15ha・トマト3a
- 従業員数:3名(令和5年7月現在)

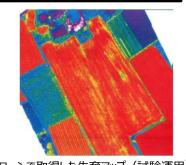
## 導入経緯

- ○年々増加する圃場面積や受託作業により、管理状況の 把握が紙ベースでは困難になりつつあった。
- ○このため、圃場管理状況を的確に把握する目的で、 2012年にKSASシステムを導入した。

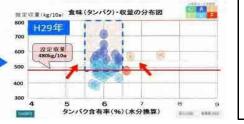
## 導入技術

- ・KSAS((株)クボタ製) 圃場管理システム、食味・収量コンバイン、乾燥システム
- ドローン (マルチスペクトルカメラ搭載) 生育マップに基づく無人ヘリによる可変追肥(試験運用)
  - 圃場毎の籾水分・タンパク含 有率を数値で確認 水分やタンパクによる仕分け乾燥 乾燥の効率化・お米の差別化 圃場毎のデータ蓄積 データ分析・圃場改善
- 収量・食味(タンパク)の改善





○ ドローンで取得した生育マップ(試験運用)



## 取組の特徴・効果

- ○収量・水分・タンパク質含有率を圃場毎に数値で確認可 能。圃場によって異なる品質を、タンパク質含有率による 仕分け乾燥で差別化。
  - → 自信を持って「おいしいお米」をお客様に届けることが 可能となった。
- 蓄積された過去からの圃場毎の収量推移データから、十 壌改良の効果を確認。圃場毎の施肥設計を見直し、収 量・食味の改善が可能となった。
  - → 目標としている収量・食味を達成した圃場数が増加。 平均収量は30kg/10a UP。
- ○試験的にドローンの空撮画像から生育マップを作成、可 変追肥により牛育ムラの解消に努めている。
- 現在では、KSASは必要不可欠の営農ツールとなってい る。今後は食味を考慮しながら平均収量540kg/10aを 目指すとともに、販路開拓に取り組み、水稲100ha規模 の営農を目指す。